



福岡医発第 1827 号 (地)

平成 24 年 10 月 25 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公印省略)

「第 23 回がん患者の QOL 推進事業講習会」の開催について (ご案内)

今般、標記講習会を別紙 1 のとおり開催する旨、独立行政法人国立病院機構九州がんセンターより通知が参りましたのでご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 24 年 12 月 1 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 30
2. 場 所 明治安田生命ホール
福岡市博多区中洲 5-6-20 TEL : 092-291-2711
3. プログラム 別紙 2 のとおり
4. 参 加 費 無料
5. 受 講 定 員 300 名程度
6. 申 込 み 参加申込書にご記入のうえ、FAX (092-551-4585) にてお申し込みください。

小郡三井医師会より

学術・生涯教育担当理事 権藤秀之
会長 蒲池 壽

九が発管 第 221 号
平成24年10月19日

各 関 係 機 関 の 長 殿

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
院 長 岡 村 健
(公 印 省 略)

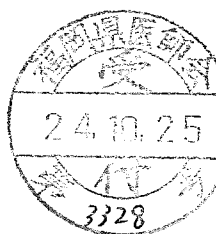
第23回がん患者のQOL推進事業講習会
開催に伴う受講者募集について（ご案内）

標記について、別紙「第23回がん患者のQOL推進事業講習会開催のご案内」のとおり開催いたしますので、貴職所属の関係職員に周知方よろしくお願いいたします。

記

（添付資料）

- 1．第23回がん患者のQOL推進事業講習会開催のご案内
- 2．講習会のプログラム
- 3．参加申込書
- 4．会場案内



第23回がん患者のQOL推進事業講習会開催のご案内

「がん患者のQOL推進事業講習会」を下記のとおり開催いたしますので、参加を希望される方は「別紙申込書」にご記入のうえ、平成24年11月20日(火)までに申し込んで下さい。

記

1. 開催日 平成24年12月1日(土) 14:00 ～ 17:30
2. 開催場所 「明治安田生命ホール」
福岡市博多区中洲5-6-20
TEL 092-291-2711
3. プログラム 別紙のとおり
4. 参加費 無料
5. 交通費 参加者負担
6. 受講定員 300名程度
(参加希望多数の場合は申込施設ごとの参加者を限定いたしますので、あらかじめご了承下さい。)
7. 交通案内 別添のとおり
8. 送付先 〒811-1395
福岡市南区野多目3丁目1-1
独立行政法人国立病院機構九州がんセンター事務部管理課内
がん患者のQOL推進事業講習会事務局 宛
(TEL 092-541-3231、FAX 092-551-4585)

(注意事項)

※ 参加確定者には、参加申込書の参加決定の欄に◎を記してFAXにて返送いたします。

当日は、参加者(代表者の方)はFAXの写しをご持参下さい。

なお、11月27日(火)を過ぎても返送FAXが来ない場合は事務局までご連絡下さい。

第23回がん患者のQOL推進事業講習会

～がん性疼痛の軽減と患者の立場に立った緩和医療の推進（膵がん等）～

開催日：平成24年12月1日（土）

会場：明治安田生命ホール

時間：14:00～17:30

『第23回がん患者のQOL講習会開催にあたって』

国立病院機構九州がんセンター統括診療部長 古川 正幸

昨今、「がん診療において、極めて早い段階（例えば、がんの診断時点）からの『緩和ケアチーム』による介入が、患者さんの生活レベルの向上とその生存期間をも延長させる」という論文が、国際的に散見されます。「がん性疼痛の軽減」は、患者さんのQOLを維持していく上で、緩和ケアにおける柱とも言える分野ですが、オピオイドの増量に伴って表れる副作用が、逆にQOLを低下させる一因ともなり、一筋縄ではいかない難しい治療です。

がん腫を問わず、病勢が進行し、肝、肺転移だけでなく骨転移にまで進展すると、頑固な強烈な痛みの緩和に難渋せざるを得ません。骨転移に伴う疼痛を軽減する治療法として、放射線外照射は、従来からよく知られた緩和治療ですが、多発骨転移に対しては、限界を感じざるを得ません。近年、ストロンチウム89による新たな放射線療法が登場してきました。特に、乳がんや前立腺がんは、進行期には多発骨転移をきたしやすく、最も良い適応と考えられますが、その功罪については、はっきりしないことも多く、現状について、がん診療に携わる医療従事者全員に啓発していく義務があるものと考えます。

難治がんの代表とされる膵がんにおいては、膵背側に腹腔神経叢があり、浸潤が及ぶと強い疼痛が生じ、病勢の進行とともにオピオイドを増量していかざるを得ません。昨今、内視鏡技術の進歩と普及により、経胃的あるいは経十二指腸的に超音波内視鏡下穿刺（EUS-FNA）による組織診及び細胞診が、多くの施設で行われるようになってきました。しかし、それに引き続く、超音波内視鏡下腹腔神経叢破壊術（EUS-CPN）を行っている施設はまだわずか少数です。EUS-CPNは、数分で終了する「がん性疼痛緩和治療」の一連の手技で、オピオイドの使用量の軽減、ひいては副作用の防止につながるといった、患者さんにとって大きな福音となりうる治療法です。もっと多くの施設に普及させるべき治療法と考えます。

「がん治療だけのために、残りの一生を終わりにたくないんです。だけど先生が熱心だからどうしていいか困ってるんです。」そんな声を、病棟を回診して初めて聞くことがあります。がん診療においては、患者さんの自己決定能力がなくなった時に備えて、あらかじめ患者さん自身が大切にしていること、治療や医療に関する希望（してほしいことと、してほしくないこと）、代理意思決定者などを、比較的早い時期（告知時点等）から、ゆっくり十分に話し合う時間と場を設ける必要があります。アドバンス・ケア・プランニング（advance care planning；ACP）、「今後、どこでどのようにどうやって過ごしたいか、残された月日、時間を、どのように生き、どんなことを大切にしたい、何を希望しているか」を、患者さんと医療従事者との間で共有していくことは、がん診療を行っていく上で重要な要といえるでしょう。

以上述べた観点をふまえ、今回の講習会では、それぞれのエキスパートである3人の先生方にご講演を頂戴し、会場に参加いただいた医療従事者全員で、がん診療に係わる問題点について、討論していきたいと思っています。

プログラム

【第Ⅰ部】

- ① ストロンチウム 89 による多発骨転移に対する癌性疼痛の緩和
古賀病院 21 放射線科医師 中川 誠
- ② 切除不能膵がんに対する超音波内視鏡穿刺下腹腔神経叢破壊術による癌性疼痛の緩和
近畿大学 消化器内科学 准教授 北野 雅之
- ③ アドバンス・ケア・プランニング（膵がん患者さんも含めて）
筑波大学 医学医療系 講師 木澤 義之

【第Ⅱ部】

◎ パネルディスカッション及び質疑応答

- ① がん性疼痛軽減を含めた緩和医療について
- ② リビングウィルやアドバンス・ケア・プランニングについて

<第23回がん患者のQOL推進事業講習会参加申込書>

(郵便番号) 〒 _____

(住 所) _____

(所属機関名) _____

(申込責任者) _____

(電話番号) _____

(FAX番号) _____ ※必ず記入して下さい

(参加者)

参加決定者

職 名 _____ 氏 名 _____ ()

職 名 _____ 氏 名 _____ ()

職 名 _____ 氏 名 _____ ()

職 名 _____ 氏 名 _____ ()

職 名 _____ 氏 名 _____ ()

職 名 _____ 氏 名 _____ ()

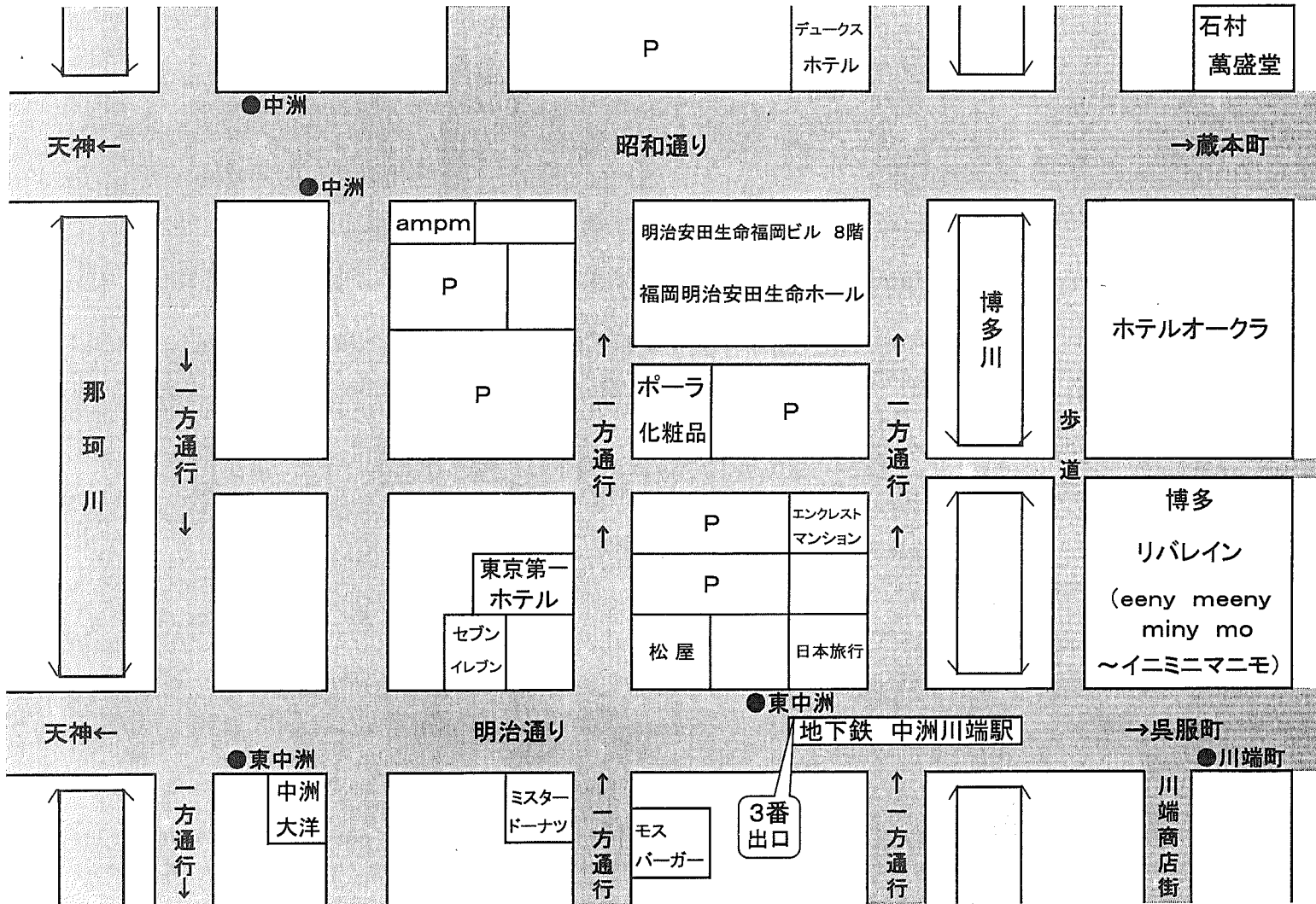
講習内容等で、ご質問等がありましたらお書き下さい。

国立病院機構九州がんセンター 管理課内

がん患者のQOL推進事業講習会事務局

FAX:092-551-4585

福岡明治安田生命ホール 周辺地図



◆お問い合わせ先
福岡明治安田生命ホール
 ～明治安田ビルマネジメント㈱管理

〒810-0801 福岡市博多区中洲5-6-20

TEL(092)291-2711
 FAX(092)291-8838

◆アクセス

◎地下鉄

「中洲川端駅」下車、3番出口を上り
 昭和通りへ100m、徒歩3分

◎バス

昭和通りは「中洲」
 明治通りは「東中洲」 で下車

◎車

当ビルに駐車場はございませんので、
 周辺パーキングにお願い致します。